

久慈地区2018平和運動に関する要請書

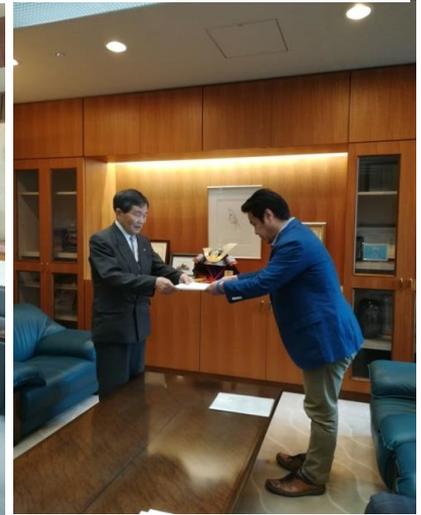
今年は7月24日の久慈地区平和集会開催に向けて、平和に対する世論喚起と世界平和に向けた運動の一環として、久慈地区の労働3団体(連合岩手県北地域協議会・平和環境久慈地区センター・久慈地区友愛会)で実行委員会を設置し、私たちの運動を理解し、取り組みを行っていただくよう各自治体に要請書を提出しました。

要請書を受けていただいた方
久慈市 市長 遠藤 譲一様
洋野町 町長 水上 信宏様
野田村 村長 小田 祐士様
普代村 村長 碓谷 伸夫様

全ての方々に手渡し、快く受け取っていただきました。
写真は遠藤久慈市長(左)と水上洋野町長(右)

要請内容

- 1・黙 禱
①8月6日(月) 8時15分
広島への原爆投下時間
②8月9日(木) 11時02分
長崎への原爆投下時間
- 2・サイレンの吹鳴
上記日程と8月15日(終戦の日)
- 3・地域の広報等に取り組みを掲載し、住民参加を啓発すること。



《フードドライブ》

県北地域協議会として今年度もフードドライブ活動を行い7月13日に食料品、19日に寄付金をフードバンク岩手に届けました。そば・うどん・パスタ・カップめん・お米・缶詰・レトルト食品・おやつなどを提供していただきました。ありがとうございます。



《食品提供組合》

岩教組県北支部・県職労久慈支部・東京銀座ファッションユニオン・東北労働金庫二戸分会 & 久慈分会

《寄付金提供組合》

PJ二戸フーズ労働組合



《被災者支援カンパ金》

久慈地区の労働3団体では野田村の仮設住宅にお住まいの方に、被災者支援カンパ金で、毎年年末にクリスマスプレゼントをお渡ししていましたが、仮設住宅利用者がそれぞれ別の住まいに移られました。これにより被災者支援カンパ金の残金37,750円を、野田村の小田祐士村長に渡し、復興再建に向け活用していただくよう要請しました。